

10. 物価

国内企業物価は、素材価格の上昇により上昇している。消費者物価は、このところ石油製品を中心に上昇しているが、基調としてはわずかな上昇にとどまっている。

(前年同期(月)比、( )内は前期(月)比、<>内は季節調整済前期(月)比、%)

		2006年	2007年	2007年7-9月	10-12月	2007年11月	12月	2008年1月
国内	企業物価	2.2	1.8	( 0.9 )	( 0.5 )	( 0.3 )	( 0.3 )	P ( 0.2 )
輸出	物価	3.1	2.2	( ▲ 1.4 )	( ▲ 2.6 )	( ▲ 2.7 )	( 0.5 )	P ( ▲ 2.4 )
	契約通貨ス	▲ 0.7	0.2	( 0.1 )	( ▲ 0.6 )	( ▲ 0.3 )	( 0.0 )	P ( 0.3 )
輸入	物価	13.7	7.7	( 0.2 )	( 2.8 )	( ▲ 0.7 )	( 4.0 )	P ( ▲ 2.4 )
	契約通貨ス	9.0	6.1	( 2.1 )	( 5.9 )	( 2.4 )	( 3.3 )	P ( 1.0 )
企業向け	サービス価格	▲ 0.1	1.2	( 0.0 )	P ( 0.6 )	( 0.1 )	P ( 0.0 )	
	海外要因を除くベース	▲ 0.2	0.2	< 0.0 >	P < ▲ 2.4 >	< 0.2 >	P < ▲ 0.0 >	
消費者物価	総合	0.3	0.0	< 0.1 >	< 0.4 >	< 0.3 >	< 0.1 >	< 0.1 >
	生鮮食品を除く総合	0.1	0.0	< 0.0 >	< 0.5 >	< 0.2 >	< 0.4 >	< 0.1 >
	(コア)	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.5	0.4	0.8	0.3
	連鎖基準	0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	0.3	0.3	0.6	0.2
	生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合(コアコア)	▲ 0.4	▲ 0.2	< ▲ 0.2 >	< 0.1 >	< 0.1 >	< 0.1 >	
	固定基準	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.3	0.0	▲ 0.0	0.2	
GDPデフレーター		▲ 1.0	▲ 0.7	< ▲ 0.2 >	< ▲ 0.6 >	—	—	—
		▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 1.3			

消費者物価  
(東京都区部)  
12月 1月(P)  
< 0.1 > < ▲ 0.2 >  
0.4 0.2  
< 0.1 > < 0.3 >  
0.3 0.4  
0.2 —

- (備考) 1. 企業物価、消費者物価は2005年基準、それ以外は2000年基準。Pは速報値。  
2. 企業向けサービス価格の海外要因を除くベースは、国際航空旅客輸送、定期船、不定期船、外航タンカー、外航貨物用船料、国際航空貨物輸送を除いたもの。  
3. 消費者物価の「生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合」は、生鮮食品を除く総合から、石油製品、電気代、都市ガス代、米類、切り花、鶏卵、固定電話通信料、診療代、介護料、たばこを除いたもの。  
4. GDPデフレーターの季節調整済前期比、企業向けサービス価格の海外要因を除くベース及び消費者物価のコアコアは、内閣府経済財政分析総括担当試算値。

